第51号 ＜2023年（令和５年）８月＞ 克己自彊

札幌東高等学校同窓会報

札幌東高校旧校舎（昭和28年～昭和56年）

会 長 挨 拶

第51号　札幌東高等学校同窓会報によせて

北海道札幌東高等学校同窓会 会長　加藤　敏彦

第51号札幌東高等校同窓会報の発行に当たり、ご挨拶申し上げます。

まず、同窓会会員の皆様には本同窓会に、日頃より温かいご支援ご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で、総会・懇親会が実施できず、皆様方のお顔を拝見できない日々が続いておりましたが、今年はようやく開催できることとなりました。

久しぶりに皆さんのお顔を拝見して楽しいひと時を過ごせることを楽しみにしております。

さて、この度は、皆様方に同窓会年会費の値上げという大変心苦しいお願いをしております。

同窓会年会費は2005年、平成17年に500円から現在の1000円に値上げして現在まで18年間経過しております。諸物価の高騰もあり、せめて振込手数料分のご負担をお願いする趣旨で1500円に値上げをお願いする次第であります。

皆様方におかれましてはどうか趣旨をご理解の上ご協力いただきますようお願い申し上げます。

先日、久しぶりに母校にお邪魔をして、教室の中でお話をさせてもらいましたが、土曜日の午後にもかかわらず、教室で勉強している生徒の姿を見て、彼らのために我々も頑張らないと思いを新たにしたところであります。

東京の同窓会も今年は実施することで準備を始めていると聞いております。少しずつ日常が戻りつつありますが、新型コロナウイルスはなくなったわけではありません。

日頃の感染予防に気をつけて日常生活を送っていただきたいと思います。

結びになりますが、皆さんのこれまでのご支援・ご協力に感謝申し上げるとともに、北海道札幌東高等学校のますますの発展と同窓会会員皆様のご多幸を祈念致しまして、同窓会報発行に当たっての挨拶とさせていただきます。

校長挨拶

同窓会報の発刊によせて

北海道札幌東高等学校長　藤井　一志

札幌東高等学校同窓会報第51号の発刊をお祝い申し上げますとともに、加藤敏彦会長をはじめとする同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動の推進に、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

本校での勤務も２年目を迎えましたが、この間、多くの同窓生の方々からお手紙をいただき、近況報告とともに、当時の学び舎の状況や仲間との語らいの様子などを詳細にお伝えいただいているところです。お手紙を拝見し、同窓生の皆様の本校に対する強い愛情と誇りや、時代ごとに本校が果たしてきた役割を実感するとともに、今お預かりしている生徒の皆さんが、将来こうした方々と同じ気持ちを持つことができるよう、充実した学校運営に努めていかなければならないと感じているところです。時代や社会がいくら変化しようとも、本校を懐かしく思い、大切にしていただいております同窓生の皆様には、改めて心から敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、本校では、スクールミッション（使命）を「次世代を担うリーダーとしての素養を身に付け、社会をイノベイトする有為な人材の育成」とし、生徒の可能性を引き出し、広い視野、深い英知、創造的な思考力を身に付け、思いやりのある豊かな心や心身の逞しさを育むことのできるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組むとともに、系統的・組織的なキャリア教育や探究活動、仲間と創りあげる学校行事や部活動などの充実を図っています。

また、社会の在り方や私たちの生活様式そのものが、これまでとは大きく変化していく中で、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、人生を切り拓いていくために必要な「知識を活用する力」、「物事を論理的に考える力」、「本質を探究する力」、「協働する力」を『東高コンピテンシー』と設定し、全ての教育活動において、こうした力を身に付けることができるよう、生徒と教職員が協力し、創意工夫を凝らしながら意欲的に取り組んでいるところであり、卒業生の進路実績や保護者の方々の学校評価の結果等からは、成果があがっていることがうかがえるところです。

今後においても、同窓生の皆様が築き上げてきた歴史と伝統、実績を大切にしながら、校訓「克己自彊」の精神に基づき、生徒、教職員一丸となって、さまざまなことに挑戦し、新たな歴史の１ページを刻んでいきたいと思いますので、引き続き本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本会のますますのご発展並びに会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、同窓会報発刊に当たっての挨拶といたします。

母校は今

母校の近況

37期　伊藤　竜司（同窓会事務局、札幌東高現職教員）

いつもお世話になっております。昨年度の会報でも「東高学び舎～変わったものと変わらぬもの～」を執筆させていただきました。そして今年度も札幌東高では新しい動きが起こっています。改めてリポートさせていただきます。

現在、校舎に改修工事が入っております。段階的に進行しておりますが、夏期講習の時期に重なるということもあり、「騒音のない環境で学習して欲しい」とのことで、３年生は東高をはなれて「かでる２・７」にて講習を行いました。本校初の「冷房が効いた教室」での講習実施！ 黒板がなく、スクリーンかホワイトボードを利用した講習も初めてかもしれません。身分証明書・生徒手帳も、１年生は歴代続いた冊子形態からカード状になりました。生徒心得などはＱＲコードを読み込んで見ることになります。時代の趨勢を感じますね。いずれはこのカード式身分証明書にICチップが組み込まれて、機械読み込みで出欠を取るようになるかも。校章もずっと赤・緑・青のバッジをローテーションで使っていましたが、来年度より単一色に統一して学年を分けずに同じものを使っていく計画です。

ジェンダーレスへの配慮も進行しています。３年前からクラスの出席番号は男女で分けないアイウエオ順が導入されていますが、今年度は要望を受けて女生徒にスラックスを着用することを許可しております。いずれ制服化していくことも考えられ、時代が動いていることを実感させられます。

そして新学習指導要領の導入に伴い、いわゆる「社会科」に新科目が導入されています。昨年度から「現代社会」は無くなって「公共」という新科目が学ばれていますが、今年度は「地理Ａ」が無くなって「地理総合」へ。「世界史Ａ」「日本史Ａ」も無くなって「歴史総合」へ。次年度は「地理Ｂ」「世界史Ｂ」「日本史Ｂ」が無くなって「地理探究」「世界史探究」「日本史探究」になります。内容もかつての暗記中心の科目から進展して、自ら課題を設定し、社会観・歴史観を育んでいくものへと移行しつつあります。

私が札幌東高に赴任してからのここ数年、多くの物事が変化しました。教員も毎年10数名単位で入れ替わり、コロナ前と比べて半数近くが変わったことになります。そういう「転換期」はいつの時代でもあるものですね。今後も母校の推移を見守ってください。

札幌東高等学校同窓会報　第51号　　2023年（令和５年）８月発行

部活探訪

コロナが蔓延していた時期、部活動も活動に制限が設けられ、苦しい期間が続きました。現在は大会における保護者観覧も認められ、従来の形での活動が戻ってきております。そんな中、高体連を中心とする全道大会に多くの部活動が臨みました。道内において体育系部活は私立高校が優勢という実情がありますが、サッカー部が市内の強豪校を２度打ち破り、上位進出したのは皆様も聞いたことかと思います。他にも、卓球部や剣道部が全道ベスト８に進出しています。

今年度のインターハイは北海道開催ですが、３つの部活動が全国に進出しました。１つ目が体操部。１年生の相馬さんが体操競技にて個人総合５位（跳馬１位、ゆか２位、平均台６位）、田中くんが新体操で個人総合５位（スティック１位、リング１位）になり、札幌きたえーるで行われた全国大会に進出しました。２つ目が空手道（右写真）で、３年生の永谷くんは男子個人「形」で全道３位になり、恵庭市で行われた全国大会へ。この永谷くんは、昨年度の新人戦でも男子個人「形」で全道優勝し、３月下旬に福岡市で行われた全国大会に出場しています。３つ目が水泳で、メドレーリレーで３位、２年生の浅利くんが1500m自由形で３位に入賞。そして２年生の河野くんは100mと200mバタフライ、ともに大会新記録を打ち出し優勝しました。まさに今、野幌総合運動公園で全国大会が行われています。特に河野くんは全国大会でも上位に入ることが期待されています。

文化系でも成果が上がっています。囲碁将棋部の２年生、渡會くんが全道囲碁選手権大会で個人戦Ａクラス１位になり、全国大会に出場しました。他にも吹奏楽が高文連大会で創部以来初めての入賞。競技かるたは昨年度から部に昇格しています。そんな中で、今回は「書道部」をご紹介します。全国大会、国際大会に出品を果たしている伝統部です。放課後は４階の書道教室で、部ジャージに着替えてアクティブに活動している様子がうかがえます。学校祭では例年「書道パフォーマンス」を披露し、有志発表の１つの山場になっています。今年も素晴らしい発表をしてくれました（左写真）。部長の３年生相馬さんから文章をもらいましたので紹介します。

書道パフォーマンスを行うまでに、何度も話し合いをして、練習を重ね、打ち合わせをしてきました。夜遅くまで残って作業をし、朝早く集まって練習するほど全力でパフォーマンスと向き合っていました。本番では今までの私たちの全てを出し切ることが出来た達成感と、無事パフォーマンスを成功できたことへの安堵、またこれをもって引退することの悲しさなどたくさんの感情が押し寄せてきました。多くの人に見ていただき、感動したと言っていただけたときは胸がいっぱいになりました。高校生最後のラストパフォーマンスで有終の美を飾ることが出来たと思います。

今回紹介した以外にも多くの部活が活躍し、また部活以外の課外活動でも多くの功績が残されています。これからも東高生への応援、よろしくお願いします。

卒業生の主な進路

卒業時期	国公立大学				私立大学			短大・各種学校	就　職
	道　内	（北大）	道　外	合　計	道　内	道　外	合　計		
令和５年３月	119	40	55	174	50	28	78	5	0
令和４年３月	132	65	69	201	33	25	58	2	2

第74回東高祭　～４年ぶりに一般公開実施、同窓会展示ルームも再開～

第74回東高祭は、７月８日（土）、４年ぶりに一般公開を行いました。これに合わせて、同窓会の展示ルームも再開し、恒例の歴代の卒業アルバム展示には、多くの人が見入っていました。こうして、コロナ以前の生活に少しずつ戻っていくのでしょう。

４年ぶりの同窓会展示ルームと第74回東高祭の様子をご紹介します。

同窓会展示ルーム

第74回東高祭フォトスケッチ

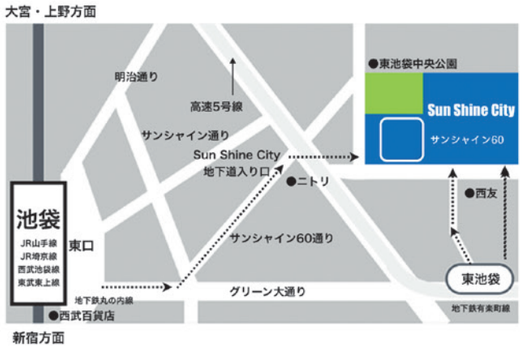
東京同窓会から

43 札幌市立高女・札幌東高 「第43回東京同窓会」総会/懇親会　11月12日（日）開催

Hokkaido Sapporo Higashi High School

『第43回札幌市立高女＊札幌東高東京同窓会総会＊懇親会』を新型コロナ禍の中で中断を余儀なくされましたが、４年振りに開催する事になりました。春先から会場探しを進め、今年は池袋サンシャイン60の、58階レストラン『サンシャインクルーズ･クルーズ』に決定致しました。都下を一望する風光明媚なレストランです。今年のゲストは東高54期の同級生、清野百香さん（バイオリニスト）高木梓さん（ピアニスト）のお二人です。今回高木梓さんはキーボードでの出演となります。楽しみな組合せです。皆様ご堪能下さい。当日参加も大歓迎です。是非ご参加ください。

●会　　場：豊島区東池袋3-1-5　池袋サンシャイン60
　　58階『クルーズ･クルーズ』☎03-3981-0962
●東京同窓会問合せ：k.sh.i17.52-to@docomo.ne.jp
　　21期　北見 賢
●受 付 開 始：11時30分
●時　　間：総会12時、懇親会12時30分～14時30分
●会　　費：9000円
●ア ク セ ス：JR山手線、JR埼京線、西武池袋線、東武東上線、地下鉄丸ノ内線、有楽町線、地下鉄副都心線池袋駅　徒歩８分／地下鉄有楽町線東池袋駅徒歩３分



ゴルフ会から

令和５年７月２日（日）、第３回札幌東西南北高校同窓会交流ゴルフ大会が開催されました。
各高校から20名ずつ80人でエルムカントリーにて終了しました。
団体優勝🏆は西高校さんが連覇です。
個人戦は西高校13期亀垣さんが78のグロスでエージシュートでの優勝でした。
東高校は27期熊谷さんが４位が最高でした。
天気も良く時間がかかりましたが事故も無く終わりました。
来年は南高校さんが担当です。

新幹事研修会

令和５年（2023年）の新幹事研修会が、５月20日（土）午後１時30分から、札幌東高校視聴覚室で開催されました。
新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止が続きましたが、令和元年（2019年）以来４年ぶりの開催となりました。
今年度の対象である73期に加え、開催できなかった３年間の対象であった、70期～72期の幹事にも声をかけたところ、70期と71期から各１名、72期から２名、73期の８名と合わせて12名が参加してくれました。

新型コロナウイルス対策も考慮して、従来とは異なり、懇親会は行わず、研修会のみの新しい形式で行い、会場も母校をお借りして実施しました。
金子副会長（組織部会長）の進行のもと、加藤会長の挨拶に始まり、里谷幹事長から、同窓会会則等、各部会長から、部会の事務、今年度の実行委員から、総会・懇親会などについての説明が行われ、参加した幹事の皆さんは、熱心に聞き入っていました。

会 計 報 告

一般会計　　（単位：円）

（収入の部）

科目	予算額	決算額	増減	摘要	R５年度予算 予算額	R５年度予算 増減(対R４予算)
前年度繰越金	2,471,798	2,471,798	0	令和３年度繰越金	2,889,474	417,676
新入会員会費	1,585,000	1,565,000	▲ 20,000	令和５年３月卒業生　313名×5,000円	1,510,000	▲ 75,000
会費	150,000	149,000	▲ 1,000	会員年会費 1,000円×149名	300,000	150,000
雑収入	53,202	81,500	28,298	名簿売上、寄付・ご厚志	60,526	7,324
合計	4,260,000	4,267,298	7,298		4,760,000	500,000

（支出の部）

科目	予算額	決算額	増減	摘要	予算額	増減(対R４予算)
事務局費	70,000	28,564	41,436	同窓会保存用卒業アルバム　ゆうちょ手数料	120,000	50,000
事務用品費	20,000	15,372	4,628	事務消耗品	20,000	0
印刷費	150,000	53,929	96,071	タックラベル　年会費振込用紙	150,000	0
通信費	300,000	276,224	23,776	会報・通信等送料　残高証明書　発送費	400,000	100,000
慶弔費	30,000	0	30,000		30,000	0
会議費	530,000	11,240	518,760	役員打合せ会場費	530,000	0
総会関係費	50,000	50,000	0	令和５年度「総会・懇親会」実行委員会活動費	50,000	0
会報発行費	240,000	165,000	75,000	会報50号印刷（A4 P8 3,600部）	180,000	▲ 60,000
学校祭関係費	0	0	0	学校祭・一般公開中止	40,000	40,000
同期会等助成費	250,000	82,475	167,525	ゴルフ大会助成（３件）第12期、14期、69期（初30,000） 同期会助成　手数料含む	250,000	0
新会員関係費	200,000	175,146	24,854	卒業式紅白餅（450×395箱　振込手数料）	200,000	0
体育文化助成費等	50,000	50,000	0	体文（20,000）学友会（30,000）	50,000	0
母校行事助成費	350,000	312,810	37,190	卒業祝五角（合格）鉛筆　体育大会飲料費 体育館掲示用アルミフレーム　職業人に聞く会講師謝礼	350,000	0
ＨＰ構築・維持費	400,000	57,064	342,936	ホームページ委託費	60,000	▲ 340,000
特別会計積立金	100,000	100,000	0	積立金（特別会計積立金口座へ）	100,000	0
予備費	1,520,000	0	1,520,000		2,230,000	710,000
合計	4,260,000	1,377,824	2,882,176		4,760,000	500,000

差引の部

収入額合計	4,267,298
支出額合計	1,377,824
差引残高	2,889,474
摘要	令和５年度へ繰越し

特別会計等積立金決算

項目	R3年度末繰越額	増額 金額	増額 事由	減額 金額	減額 事由	R4年度末決算額
特別会計積立金	5,039,167	100,000	一般会計より	550	残高証明書手数料	5,138,634
		17	利息			
周年事業基金	3,036,594	0		550	残高証明書手数料	3,036,044
合計	8,075,761	100,017		1,100		8,174,678

同窓会役員名簿

令和５年８月現在

役職	氏名	期
顧問	丹保憲仁	1
	川島大介	8
相談役	五十嵐恒夫	1
	水谷洋一	15
会長	加藤敏彦	23
副会長	高木綏子	4
	木部義一	6
	陣内幸則	9
	佐々木信義	12
	相沢徹	15
	三上義行	19
	中村武信	23
	岸光右	25
	前田晃壱	27
	野坂美由紀	27
	金子誠二	30
	小田原史佳	31
	森智行	44
幹事長	里谷彰	19
副幹事長	松井弘子	6
	諸橋祐一	14
	伊東康博	16
	井浦功雄	18

役職	氏名	期
副幹事長	宮崎直美	20
	鎌田勝幹	21
	鈴木敬久	22
	清水紀子	22
	昔農徹	24
	高橋順一	25
	白崎司	28
	手島久仁彦	28
	吉岡和彦	29
	伊藤智	32
	設樂浩之	34
	渡辺淳一	36
	八木野久	37
	神戸洋介	44
	植木佳子	48
	阿部啓太郎	49
監査役	小山國夫	12
	中村紀子	19
常任幹事	五十嵐信彰	3
	伊勢準子	3
	田中啓子	3
	畠山義範	4
	内田要子	4

役職	氏名	期
常任幹事	新井田弘	5
	高橋清一	5
	佐藤八重子	5
	赤塚宏三	6
	藤林和夫	6
	仙波美博	7
	鈴木敬夫	7
	遠藤安倫	8
	中村公子	8
	古山誠子	8
	佐藤公二男	8
	中村敏克	9
	本田修	9
	小飼洋三	9
	長谷川善教	11
	渡辺凱子	12
	川浪末子	13
	小飼八洲紘	13
	芝野忠司	13
	神谷光彦	14
	岡田政義	14
	東恒一	15
	岡部文子	15

役職	氏名	期
常任幹事	橋本喬史	15
	鈴木裕子	17
	小熊正子	17
	北村優明	19
	中林昭人	19
	松井良一	19
	高木勉	20
	陣内恵美子	21
	萩野恵理子	26
	山中まさと	28
	北橋佐恵子	30
	富樫勝	31
	新保浩二	36
	谷祐児	36
	山田麻美子	44
	駒田健太郎	45
	相澤祐美	53
	古屋亜由美	53
事務局	伊藤竜司	37
	形部眞一郎	48

同窓会 この１年間の活動 〈令和４年７月１日～令和５年６月30日〉

☆総会開催と関連活動

・第113回同窓会総会・懇親会・・・新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、総会は、紙上開催とし、懇親会は、中止

※下記議案（ア）～（エ）については、同窓会会則第８条(4)の「執行委員会は、会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。」の規定に基づき、令和４年６月、執行委員に文書で送付し了解を得た。

（ア）令和３年度会務報告
（イ）令和３年度一般会計決算報告
（ウ）令和４年度事業計画
（エ）令和４年度一般会計予算

・常任幹事会、拡大幹事会、執行委員会、各部会についても中止

☆母校の活動・行事への協賛

・第73回東高祭
新型コロナウイルス感染防止のため一般公開されなかったため、同窓会展示コーナーは開設せず
・体育部、文化部、学友会活動へ助成
・体育祭　２年ぶりに開催され、生徒全員に飲料水を提供
・職業人に聞く会への講師派遣は、事務局が実施

☆情報発信・コミュニケーション強化

・令和４年８月に同窓会報第50号を発行
・ホームページのセキュリティと品質の維持を長期的に図るため、管理業務の業者委託を継続

☆新人の育成

・新入会員入会式を令和５年２月27日（月）に開催
・新幹事研修会は、70期、71期、72期、73期を対象に令和５年５月20日（土）に開催

同窓会事務局から

●母校の教育活動への支援

母校から同窓会に対し、体育館の正面壁に設置している「会次第・掲示用のフレーム」が経年劣化したので、アルミフレーム製で軽量のものに新規更新したいとのことで助成（約10万円）の依頼があり、提供させていただきました。早速、卒業式・入学式で活用されていました。

●同窓会年会費納入のお願い

年会費は、同窓会運営上の大きな財源として運用され、母校の活動助成にも活用されています。令和５年度年会費（1,000円）について、納入をお願いしております。随時、受け付けておりますので、右記口座への振り込みをお願いいたします。

(1) 銀　行　名	ゆうちょ銀行
(2) 記 号 番 号	０２７００－１－１００８０
(3) 口　座　名	札幌東高等学校同窓会 （サッポロヒガシコウトウガッコウドウソウカイ）
(4) 他金融機関から振込の場合	《店名》二七九　《店番》２７９ 《預金種目》当座預金　《口座番号》１００８０

●同期会助成について

同期会の開催には交流拡大を目的とした助成金制度がありますのでご利用ください。

・基準：卒業期全体を対象とする同期会とし、年１回に限る（地域または一部を対象とする会は除外）
・金額：１回につき１万円（ただし初回のみ３万円）
・手続：同期会開催通知（案内状等）に参加（予定）人数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送、ファックス、電子メール等で送信する。振込先は、同期会代表者又は会計担当とする

○開催結果は
同窓会メールアドレス（下記参照）または事務局にご報告ください。

●同窓会へ連絡・質問・意見はこちらにお寄せください

北海道札幌東高等学校同窓会事務局
〒003-0809 札幌市白石区菊水９条３丁目（札幌東高等学校内）　☎011-831-6332　FAX 011-811-3952
メールアドレス　info@shh-dousou.com　事務局担当　伊藤先生・形部先生

同窓会ホームページ

編集スタッフより

コロナが落ち着き、やっと日常を取り戻し始めてきている今日この頃、同窓会の活動も少しずつ再開され、今年は新幹事研修会や、総会・懇親会も４年ぶりに開催されることとなりました。しかし、活動がままならなかったこの期間のブランクは大きく、以前のように年代を問わず多数の同窓生が参加した活動に戻れるのかが心配されています。そんな中で、この会報は少しでも仲間たちが絆を取り戻し、もう一度活気のある同窓会活動の架け橋になればという願いを込めて編集されています。生徒の元気な姿や、各種行事の記事の中から、そんな思いを少しでも感じ取っていただければ幸いです。

編 集 長　吉岡　和彦（29期）
編集参与　相沢　　徹（15期）　野坂美由紀（東高27期）
広報部会　小田原史佳（31期、広報部会長）
陣内　幸則（９期）　三上　義行（19期）　植木　佳子（48期）　阿部啓太郎（49期）

●投稿・新規特集のアイデア・ご意見などお寄せください。●会報編集に携わりませんか。若い世代の方大歓迎です。